

「救いの手」アン テナづくりに奔走

「日本駆け込み寺」代表理事の玄秀盛さん

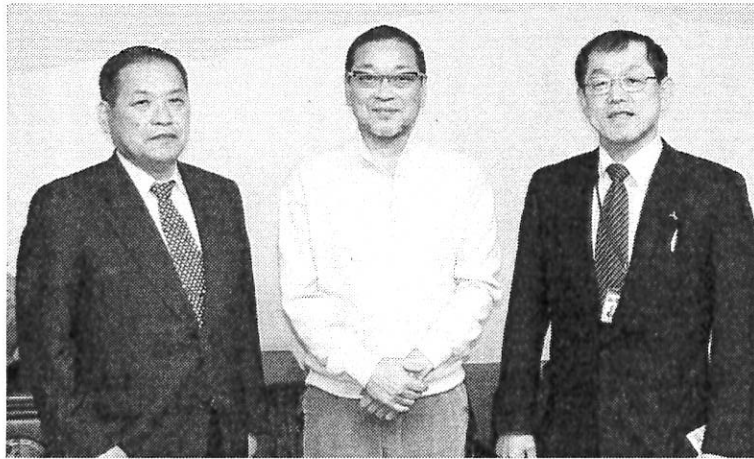
悩み解消手助けを

全国にネット
トワーク網 滝川市に協力要請

【滝川】家庭内暴力やストーカー、恐喝、いじめなどの問題に悩む相談者に対して救いの手を差し伸べる公益社団法人「日本駆け込み寺」の代表理事・玄秀盛さんがこのほど、市役所を訪れ、市保健福祉部の佐々木哲部長に同寺の活動を報告した。

玄さんは大阪出身の56歳。建設業など複数の事業を手掛けていたが、10年前、自身に白

業から退き、過去を捨



西村校長（左）を伴って来庁した玄さん（中）

てNPO法人日本ソーシャルマイノリティ協会を設立。平成14年、東京最大の繁華街・新宿歌舞伎町に「新宿救護センター」を開設。今年11月から、公益社団法人「日本駆け込み寺」として、家庭内暴力や虐待、多重債務、ひきこもり、自殺などさまざまな問題を抱えた人たちの相談を受けサポートしている。この10年間で解決した問題は2万件を超える。玄さんの生きざまは、テレビドラマ「愛・命〜新宿歌舞伎町駆け込み寺〜」（主演・渡辺謙さん）にもなった。

「生きる」などの著書も出している。同寺の基本理念は▽たった一人のあなたを救う▽たった一人の自己を創造する▽たった一人が世界を変える。同日は、旧知の間柄でもある滝川高校の西村耕司校長を伴って市役所を訪れた。玄さんは「被害者が加害者から逃げることで、自分がおかしなこと途中で命を失くすことがあってはならない。加害者が、どのような人間でも、団体でも双方の間に入って被害者の相談を受け解決している。何も怖いものはありません。さまざま問題を抱える人のための駆け込み寺があるということ、全国の人にわかってほしい。

北海道、そして滝川市にも駆け込み寺につながるアンテナを立ててほしい。今はそのための活動を展開している」と、佐々木部長に協力を要請した。同寺の本部は、東京都新宿区歌舞伎町（TEL 03・5291・5720）にあるほか、宮城県仙台市青葉区国分町に仙台支部（TEL 022・3957740）も開設している。

【沢田忠良】